

人と人が出会い
魅力的で良いまちに
なりますように

名古屋市東区地域活動紹介マガジン

Vol.
01
March
2025

E-MATCHI

まっち

TAKE
FREE

巻頭特集

町内会・自治会って
どんなもん？

まちを大切に、守ってくれる人がいる。



矢田川パークハウス自治会(A・B・C・D棟)の皆さん

「Eまっちカード」協力店リスト 裏面からお読みください。

- 地域とともに・・・協力店随時募集 3P
- 名古屋市東区町内会・自治会応援事業「Eまっちカード」事業説明 14P
- 町内会・自治会への加入方法 14P

まちを大切に、
守ってくれる人がいる。

町内会・自治会って どんなもん？

「町内会・自治会に入ってどんなメリットがあるの？」と聞かれます。町内会・自治会の活動は、地道なものが多く実際の活動が見えづらい、自分自身との関わりが分かりづらいことからの疑問だと思います。

このたび、東区の小学校区からそれぞれ、地域で活動する人々を取材しました。皆さんは「大変だ」「やめるのは簡単だけど…」と言いつつも、「やめたら、まちとしてよくない気がする」「みんなが元気であるのがうれしい」と話されます。

加入のメリットに疑問を感じる方も、まちに活気があり、良いまちであり続けてほしいという気持ちは同じではないでしょうか。一人一人が、まちのためにできる活動を行い、時につながり、集まれば、その大きなパワーがまちの力になると思います。「役員をやることになったら自分にはつとまらない」「人づきあいが面倒」というお声もあります。

まちのためにできること、どうすればよいか、考えるきっかけになればと思います。



● 七小町泉寿会の清掃作業 ●

七小町自治会の七小町泉寿会は月に一回、泉どんぐり広場を清掃します。参加者10名程度のほか、自治会長や保健環境委員も一緒に草取り、剪定、ごみ拾い。皆さん60歳以上のことですが、手慣れていて力作業もなんのその。泉寿会長の安福さんはビワの木に登ってシヤンシヤンとハサミを動かし「87歳よ」と胸を張っておられました。元気のみなもとは「おしゃべり」です。作業中もにぎやかですが、終わったあとは茶話会です。ひとり暮らしの高齢者の孤立化を防ぐための地域の交流の場になっています。



作業の早さに
びっくりです！



どんぐり広場とは・・・名古屋市内に所在する幼児のための小規模な遊び場で、地域の方々と行政が協同して設置しているもの。保健環境委員とは・・・健康づくり事業やごみ・資源分別指導など、地域公衆衛生活動のリーダー。



自治会長の伊藤さんと、保健環境委員さん、七小町泉寿会の皆さん

東桜学区 七小町自治会

しゃべることでも元気になる！

みんな元気なら
いいんだわ



泉寿会長の安福さん

●主税町子ども会のお掃除会●



主税町公園愛護会の活動の一環でもあります。学区の体育祭にむけて大縄跳びの練習

輪回しに、でかパンツ、おもしろい！



どの地区も一生懸命だから本気になるんだよ

主税町自治会の主税町子ども会は、月に1回、主税町公園をお掃除します。落ち葉が多く、子どもたちもたくさん遊ぶので定期的に掃除したほうがよいそうです。楽しみは、掃除のあとにみんなで遊ぶことです。取材した日は山吹学区連絡協議会主催の体育祭の練習日でした。

子どもと一緒に保護者の方々が汗を流していました。主税町子ども会ではほかにも、1年のなかで、スイカ割りや豚汁会などを実施するそうです。「子どもが喜ぶ顔がいちばん嬉しいわ」とおっしゃっていました。掃除をきっかけに、家族や横のつながりが強くなるのは素敵ですね。

山吹学区 主税町自治会

掃除後の楽しみ〜みんなでお遊ぼう

夏はスイカ割り！



子ども会とは・・・遊びや仲間づくり、異年齢交流を通して、子どもたちの自主性や社会性を育むことを目指して活動する組織。
学区連絡協議会とは・・・住民相互の交流を図り、連帯を高めることを目的として、学区内の様々な団体の代表等で構成された協議組織。
公園愛護会とは・・・公園をきれいに保ち、安全で楽しく利用できるように管理することを目的に活動する組織。

●七夕獅子祭り●

笹に願いごとを



くじ引きはお楽しみ！



獅子は全部で4頭、牡獅子と牝獅子と子獅子2頭がいます。

食べ物などをお供えます。



コミュニティセンターとは・・・地域住民の連帯とコミュニティ活動の推進を図るために利用できる施設。

七夕に、東白壁コミュニティセンターで獅子を飾り、お祭りを行います。昔はこの地域で、七夕に獅子をかつぐ風習があったとか。その後、管理の面から獅子を手放すところもでてきましたが、相生町3・4丁目自治会では木彫りの獅子を近藤会長が保管しています。いまは記念撮影というかたち

で楽しんでもらいます。また笹に願ひ事を書いてお祓いをしたり、くじ引きを工夫したりと、伝統と楽しみをうまく組み合わせています。子どもがいる家庭にも声をかけ、令和6年度は自主防災訓練も同時に開催しました。

会長の近藤さんと牡獅子

東白壁学区 相生町3・4丁目自治会

伝統を守りながら楽しめる工夫を

喜んでくれるのがいちばんうれしい



● たか あ 高牟神社大祭への参加 ●



お供え物のお菓子などを
まちの人たちから預かります。

車道町六丁目自治会は、千種区にある高牟神社の氏子として10月14日、15日に行われる大祭へ参加しています。獅子のお宿を用意してお供え物をし、子どもたちが中心となって高牟神社でお祓(はら)いをします。貴重な三世代の交流の場となっており、高齢の方々のなかには、子どもたちと写真を撮ることが楽しみだという人もいます。この写真を1年後にみんなで見ることで、子どもの成長を喜び、先人を偲(しの)ぶこともある

そうなんです。かつては子どもが減って存続が危うい時期もあったんですけど、やめるのは簡単だけど再びやるのは難しいという声を大事に続けてきました。今は子どもが増えるまちとして、新しい子どもを迎えながら、祭りの体験と記憶を将来につなげていきます。

子どもたちと交わるのを
楽しみにしています

元気を出して、
ワッショイ



葵学区

くるまみち ちよう 車道町六丁目自治会

祭りをとおして三世代の交流を

● はじめての防災訓練 ●



自治会費でヘルメットを
購入しました



緊急時あんしん情報シートとは・・・自身の身元や日頃の身体情報、連絡すべき家族や知人の方などをシートに記載することで、救急隊などが迅速に情報を把握し医療機関に伝えることができるもの。

城番町自治会では、能登半島地震をきっかけに訓練を希望する声があがり、会長の濱島さん、前会長の水谷さん、消防署に勤める谷口さんが3人で企画、令和6年4月にはじめての防災訓練を実施しました。「声掛け(安否確認)」のデモンストレーションは雨でできなかったものの、防災紙芝居ではユーモラスな掛け合いで

楽しく学び、緊急時ああんしん情報シートやシートを入れる防災ポトルなどを配付しました。訓練をとおして隣近所の方が顔見知りになり、みんながバラバラにもっている防災への意識を共有したいという思いがあります。

じようばんちよう 筒井学区 城番町自治会

自分たちの身は自分たちで守ろう

災害のときは
顔見知りか
大事だからね



現会長の濱島さん(左)と前会長の水谷さん(右)

● 東大サロンの楽しい催し ●



行事の詳細は皆で話し合っていました。小林さんは名ファシリテーターです。



東大曽根町
公民館

40年ほど前に建てられ、大切に使用されています。高架下にあるので、雨にもぬれず、使い勝手がよいそうです。



代表の小林さん 開催した「己書」の作品の前で

もうネタが
つきてきたけど、
みんなが
支えてくれるから
続いています



紙ヒコーキよ、
飛べ!

東大曽根町自治会では、「東大曽根」から由来する「東大サロン」を主催しています。サロン代表は小林さん。東区社会福祉協議会で働いた現役時代の経験を生かした運営をしています。取材をした日は、紙ヒコーキ作り、お菓子を使ったミニゲーム、食べておしゃべりした後は、ゴムボールを

使った誤嚥予防の体操を行っていました。このサロンではボランティアさんを他地区・他学区から受け入れるなど、間口を広げている点が画期的です。実は東大曽根自治会は情報発信にイン스타그램を使っているとのこと、こういった進取の気風があるからでしょうか。

鉄道高架下で進取の運営を

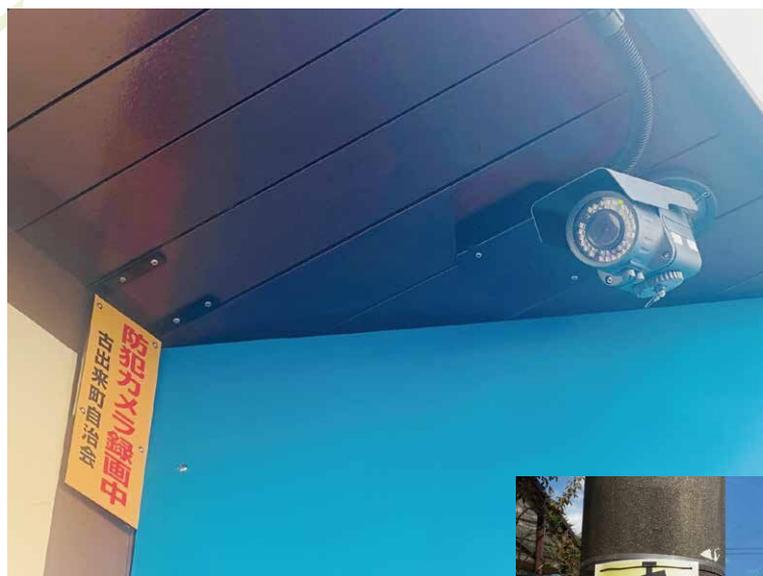
東大曽根町自治会

旭丘学区



東大曽根町自治会
Instagram

● 防犯カメラの点検活動 ●



一つ一つの防犯カメラは購入時期が違い、構造も違います。その違いも把握されているそうです。

掲示することも
防犯に
なります



古出来町自治会では、まちの安全を守るため、防犯カメラの設置を進めてきました。実際に、ひったくりや交通事故、空き巣被害などが起きた際には、警察から情報提供を求められ、解決の手がかりとなりました。防犯カメラの映像は数日保存したあと画像が更新され消えるため、警察に提供する際には、注意する必要があります。

また、機器の中には映像が映っていないかったり、途切れていたりと障害していることがあるため、会長恩田さんが業者と定期的に点検しています。防犯カメラを設置・維持・管理することは、地域の方はもちろん、商店を営む人やまちを行き来する人を守ることになるので大切な活動です。

事件・事故の解決に一役買ってます

古出来町自治会

明倫学区



会長の恩田さん

矢田学区

大幸南二丁目自治会

だいこうみなみ

●秋祭りは実行委員会形式で●

「一緒にやらない?」って一声かける

大幸南二丁目自治会は、これまでずつと行ってきた秋祭りをコロナ禍で中断していました。住民の高齢化、担い手不足もあり令和5年から再開するか悩みました。前会長の細川さんは、「負担だからやりたくないけど、やめたらやめたままになる。それってまちとしてよくない気がする」。そこで「実行委員募集」のチラシを配布し、声掛けをしたところ、5名が集まりました。役員に新しく有志が加わるることによって、発想やツールが広がりました。令和6年は実行委員が10名に増え、同じ町内の至学館高校から吹奏楽部を招いて盛り上がりました。負担を前進に変えられる建設的で前向きなコミュニティです。



大道芸や踊りなどが祭りを盛り上げ帰省した家族連れも大喜び!!



至学館高校吹奏楽部と秋祭り実行委員の皆さん

盛り上がってくれてよかった!

前会長の細川さん(左)と現会長の川添さん(右)



●ふれあいネットワーク活動●

砂田橋学区

矢田川パークハウス自治会(A・B・C・D棟)

やだがわ

「安否確認」が「ふれあい事業」に

矢田川パークハウス(A・B・C・D棟)では、高齢者への電話訪問をボランティアで行っています。コロナ禍を経て高齢者の活力低下を心配する声に住民からあったため、この地区からはじめました。最初は「相手が電話にできれば目的達成」でした。しかし意外にも「もっと話したい」人がいることがわかり「ふれあい事業」に変わっていきました。元気がどうかは声色でわかるそう、困っていれば民生委員につなぎます。なかには「地域の給食会やお祭りに行かないけれど話したい」という高齢者もいます。高齢化がさらに進む今後は、ボランティアを広げていきたいとおっしゃっていました。



ボランティアは責任を負わず、おしゃべりのみが目的。だから続けられます。

「電話がいつまでもかかってこないからどうしたかと思った」って言われたよ



リーダーの周防さん